

景況感、2期連続の上昇

香川県内企業経営動向調査（平成26年12月実施）

概要

今期(平成26年10～12月期)の業況判断指数(BSI)は△10.3となり、前期(平成26年7～9月期)実績の△18.1から7.8ポイント上昇した。前年同期(25年10～12月期)実績の6.8は17.1ポイント下回る水準である。項目別の判断指数は全9項目のうち、前期と比較して上昇した指数は、受注高、売上高、資金繰り、設備投資、雇用、採算の6項目で、生産高、在庫高、銀行借入の3項目は低下した。

来期(平成27年1～3月期)の業況判断指数(BSI)の見通しは△22.4となり、今期(26年10～12月期)実績の△10.3から12.1ポイント低下の見通しである。前年同期(26年1～3月期)実績の2.0は24.4ポイント下回る水準である。項目別の判断指数は全9項目のうち、今期より上昇する見通しの指数は、設備投資の1項目で、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、雇用、採算の8項目は低下の見通しである。

概況 今期の香川県内企業の業況判断指数(BSI)は、消費増税に伴う需要の停滞や円安等による原材料高の影響等があるものの、製造業、非製造業とも前期に比べ景況感は改善し、全産業ベースで指数は2期連続の上昇となった。来期は季節的な需要の減少に加えて、景気の先行きについて慎重な見方もあり、指数は3期ぶりに低下する見通しである。

業界業況(BSI)の実績推移と見通し

期	()内は前回調査時の見通し				前期	今期	来期	
	平成25年 4～6月	7～9月	10～12月	平成26年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成27年 1～3月
製造業	(△ 2.7)	(2.6)	(5.2)	(△ 9.3)	(△ 13.3)	(△ 6.3)	(△ 6.6)	(△ 29.5)
	△ 7.9	△ 5.2	5.3	△ 12.0	△ 25.0	△ 21.1	△ 12.8	
非製造業	(5.0)	(△ 1.3)	(9.2)	(△ 2.7)	(△ 29.5)	(1.3)	(5.5)	(△ 15.4)
	△ 11.5	△ 5.3	8.2	15.4	△ 22.1	△ 15.1	△ 7.7	
全産業	(1.3)	(0.6)	(7.2)	(△ 6.1)	(△ 21.6)	(△ 2.5)	(△ 0.7)	(△ 22.4)
	△ 9.7	△ 5.2	6.8	2.0	△ 23.6	△ 18.1	△ 10.3	
前年同期比(差異)	9.1	22.3	24.2	20.1	△ 13.9	△ 12.9	△ 17.1	(△ 24.4)

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものの。次の算式により求める。

$$B S I = X - Y$$

X : 「好転 (増加)」と回答した企業の割合 (百分率)

Y : 「悪化 (減少)」と回答した企業の割合 (百分率)

※回答は、①好転 (増加)、②不変、③悪化 (減少) から1つ選択

(注) 本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

- ・ 前期 : 平成26年7～9月、今期 : 平成26年10～12月、来期 : 平成27年1～3月
- ・ I 期 : 1～3月、II 期 : 4～6月、III 期 : 7～9月、IV 期 : 10～12月

I. 項目別 BSI

1. 業界業況判断 BSI

2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成26年10～12月期)＞

今期の業界業況判断 BSI は、 $\Delta 10.3$ で、前期(26年7～9月期)実績の $\Delta 18.1$ から7.8ポイント上昇した。指数の上昇は2期連続である。前年同期(25年10～12月期)実績の6.8は17.1ポイント下回る水準である。

産業別では、製造業が $\Delta 12.8$ となり、前期実績の $\Delta 21.1$ から8.3ポイントの上昇。製造業全8業種のうち、食料品、化学工業・石油製品、輸送用機械器具、その他製造業の4業種で指数が上昇した。

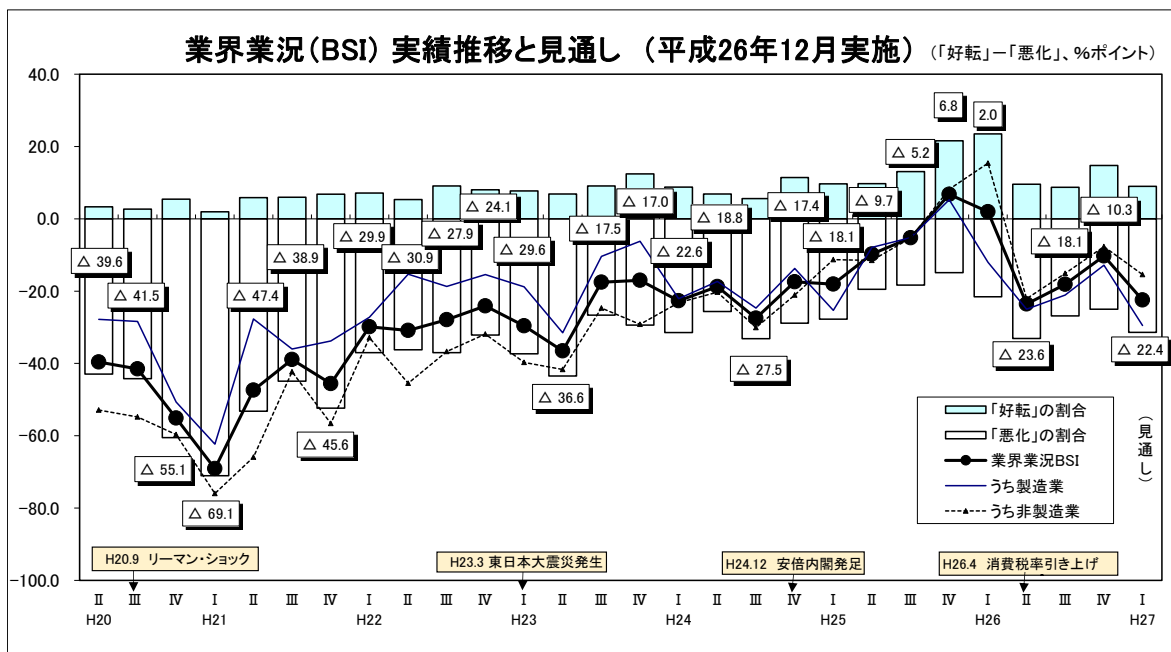
非製造業は前期の $\Delta 15.1$ から今期の $\Delta 7.7$ へと7.4ポイント上昇した。非製造業全5業種のうち、卸売業、運輸業、サービス業その他の3業種で指数が上昇した。

＜来期見通し(平成27年1～3月期)＞

来期の業界業況判断見通し BSI は $\Delta 22.4$ で、今期(26年10～12月期)実績の $\Delta 10.3$ より12.1ポイント低下し、前年同期(26年1～3月期)実績の2.0は24.4ポイント下回る見通しである。

産業別では、製造業が $\Delta 29.5$ となり、今期実績の $\Delta 12.8$ から16.7ポイントの低下。製造業全8業種のうち、食料品、化学工業・石油製品、金属製品、機械器具、その他製造業の5業種で指数が低下する見通しである。

非製造業は $\Delta 15.4$ となり、今期実績の $\Delta 7.7$ から7.7ポイント低下し、非製造業全5業種のうち、サービス業その他の1業種で指数が低下する見通しである。



■業界業況判断指数（各期比較）

業 種	実 績 値					増 減			
	今期の前年同期	来期の前年同期	前 期	今 期	来 期	今期(H26.10-12月)		来期(H27.1-3月)	
	(H25.10-12月)	(H26.1-3月)	(H26.7-9月)	(H26.10-12月)	(H27.1-3月)	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
	①	②	③	④	⑤	(④)-③	(④)-①	(⑤)-④	(⑤)-②
製造業	5.3	△ 12.0	△ 21.1	△ 12.8	△ 29.5	8.3	△ 18.1	△ 16.7	△ 17.5
食料品	8.3	△ 53.3	△ 31.3	0.0	△ 35.3	31.3	△ 8.3	△ 35.3	18.0
繊維製品	△ 10.0	△ 44.4	△ 33.3	△ 37.5	△ 37.5	△ 4.2	△ 27.5	0.0	6.9
木材・木製品	25.0	△ 25.0	△ 66.7	△ 66.7	△ 66.7	0.0	△ 91.7	0.0	△ 41.7
化学工業・石油製品	△ 16.7	0.0	△ 20.0	△ 16.7	△ 50.0	3.3	0.0	△ 33.3	△ 50.0
金属製品	40.0	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 40.0
機械器具	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	△ 9.1	△ 18.2
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0
その他	5.9	△ 12.5	△ 35.7	△ 33.3	△ 53.3	2.4	△ 39.2	△ 20.0	△ 40.8
非製造業	8.2	15.4	△ 15.1	△ 7.7	△ 15.4	7.4	△ 15.9	△ 7.7	△ 30.8
建設業	25.0	35.7	16.7	△ 7.1	14.3	△ 23.8	△ 32.1	21.4	△ 21.4
卸売業	31.3	44.4	△ 18.8	△ 5.9	△ 5.9	12.9	△ 37.2	0.0	△ 50.3
小売業	5.0	30.0	△ 11.8	△ 21.1	△ 21.1	△ 9.3	△ 26.1	0.0	△ 51.1
運輸業	△ 25.0	△ 22.2	△ 40.0	△ 30.0	△ 30.0	10.0	△ 5.0	0.0	△ 7.8
サービス業 その他	△ 5.9	△ 29.4	△ 22.2	16.7	△ 33.3	38.9	22.6	△ 50.0	△ 3.9
合 計	6.8	2.0	△ 18.1	△ 10.3	△ 22.4	7.8	△ 17.1	△ 12.1	△ 24.4

2. 受注高判断 BSI

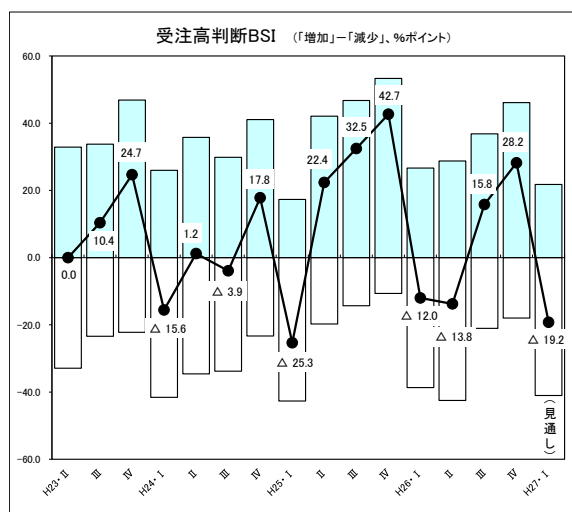
2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

<今期実績(平成26年10~12月期)>

今期の受注高 BSI は 28.2 で前期実績 15.8 を 12.4 ポイント上回った。前年同期実績の 42.7 は 14.5 ポイント下回る水準である。

<来期見通し(平成27年1~3月期)>

来期の受注高見通し BSI は△19.2 で今期実績 28.2 から 47.4 ポイントの低下の見通しで、前年同期実績の△12.0 も 7.2 ポイント下回る水準である。



業 種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	12.4	△ 14.5	△ 47.4	△ 7.2
食料品	9.6	△ 2.9	△ 105.9	14.5
繊維製品	△ 12.5	△ 42.5	△ 25.0	△ 37.5
木材・木製品	33.3	△ 75.0	△ 16.7	8.3
化学工業・石油製品	70.0	33.3	△ 116.7	△ 26.7
金属製品	10.0	△ 20.0	0.0	△ 10.0
機械器具	△ 27.3	9.1	0.0	18.2
輸送用機械器具	20.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	26.2	△ 31.4	△ 53.3	△ 13.7
合 計	12.4	△ 14.5	△ 47.4	△ 7.2

(注) 非製造業は調査対象外

3. 生産高判断 BSI

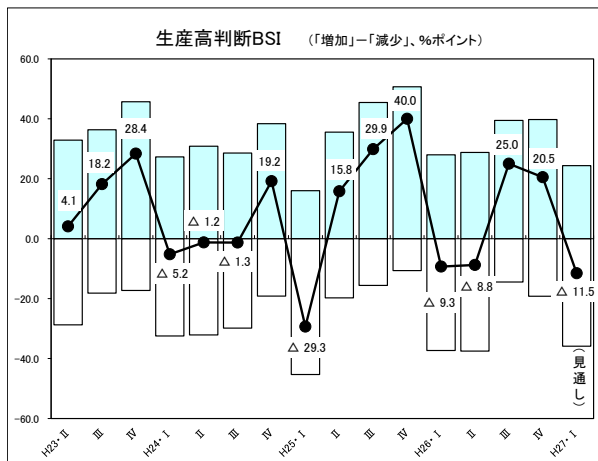
3期ぶりに低下し、来期も低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の生産高 BSI は 20.5 で、前期実績の 25.0 を 4.5 ポイント下回った。前年同期実績の 40.0 を 19.5 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の生産高見通し BSI は△11.5 で今期実績 20.5 を 32.0 ポイント下回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 4.5	△ 19.5	△ 32.0	△ 2.2
食料品	27.9	2.9	△ 105.8	7.1
繊維製品	△ 81.9	△ 67.5	0.0	△ 4.2
木材・木製品	0.0	△ 91.7	0.0	8.3
化学工業・石油製品	70.0	33.3	△ 116.7	△ 26.7
金属製品	△ 20.0	△ 30.0	10.0	△ 10.0
機械器具	△ 36.4	0.0	27.3	27.3
輸送用機械器具	0.0	20.0	△ 20.0	0.0
その他	5.7	△ 38.8	△ 20.0	△ 12.5
合計	△ 4.5	△ 19.5	△ 32.0	△ 2.2

(注) 非製造業は調査対象外

【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は「季節的な需要増加」の64.1%、次いで「景気動向」が14.1%、「販売力の強化」が12.8%。「減少要因」は1位が「季節的な需要減少」の53.1%、次いで「景気動向」の25.0%となっている。

4. 売上高判断 BSI

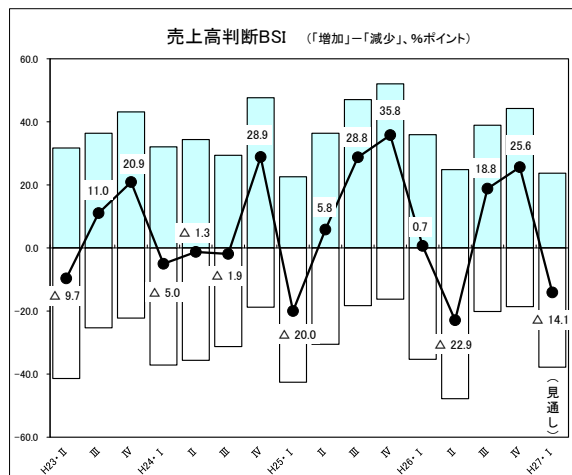
2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 32.1、非製造業 19.2、全産業で 25.6 となり、前期実績を 6.8 ポイント上回った。前年同期実績は 10.2 ポイント下回る水準。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業△17.9、非製造業△10.3、全産業で△14.1 となり、今期実績 25.6 を 39.7 ポイント下回り、指数自体も3期ぶりにマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	12.4	△ 11.9	△ 50.0	△ 5.9
食料品	21.3	0.5	△ 123.5	8.6
繊維製品	△ 6.9	△ 32.5	△ 87.5	△ 5.6
木材・木製品	33.3	△ 75.0	△ 16.7	8.3
化学工業・石油製品	70.0	33.3	△ 116.7	△ 26.7
金属製品	10.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 20.0
機械器具	△ 18.2	18.2	18.2	△ 9.1
輸送用機械器具	0.0	40.0	△ 20.0	20.0
その他	12.9	△ 44.7	△ 20.0	△ 6.3
非製造業	1.4	△ 8.2	△ 29.5	△ 23.1
建設業	△ 23.8	△ 23.8	35.7	△ 21.4
卸売業	34.1	△ 9.6	△ 58.8	△ 17.0
小売業	△ 8.3	△ 28.9	△ 47.4	△ 51.3
運輸業	△ 10.0	15.0	20.0	10.0
サービス業 その他	5.5	22.2	△ 61.1	△ 15.4
合計	6.8	△ 10.2	△ 39.7	△ 14.8

5. 在庫高判断 BSI

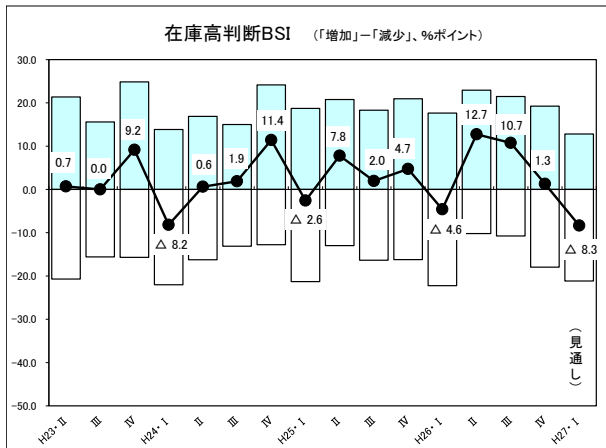
2期連続で低下し、来期も低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業 2.6、非製造業 0.0、全産業で 1.3 となり、前期実績の 10.7 を 9.4 ポイント下回った。前年同期実績は 3.4 ポイント下回る水準。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が 3.8、非製造業は△20.5、全産業では△8.3 となり、今期実績を 9.6 ポイント下回り、指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 11.9	△ 2.7	1.2	△ 1.5
食料品	30.1	25.9	11.8	22.7
繊維製品	△ 69.4	△ 15.0	0.0	△ 36.1
木材・木製品	△ 66.7	△ 50.0	33.3	△ 16.7
化学工業・石油製品	0.0	△ 16.7	△ 33.3	△ 53.3
金属製品	△ 40.0	△ 20.0	40.0	0.0
機械器具	0.0	0.0	△ 18.2	45.5
輸送用機械器具	20.0	20.0	0.0	0.0
その他	△ 7.6	0.8	△ 20.0	△ 19.6
非製造業	△ 6.8	△ 4.1	△ 20.5	△ 6.4
建設業	△ 14.3	△ 31.0	7.2	△ 7.1
卸売業	△ 19.5	24.3	△ 35.3	△ 12.4
小売業	11.2	△ 14.7	△ 47.4	△ 12.1
運輸業	10.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	△ 16.7	0.3	△ 11.1	0.9
合計	△ 9.4	△ 3.4	△ 9.6	△ 3.7

6. 資金繰り判断 BSI

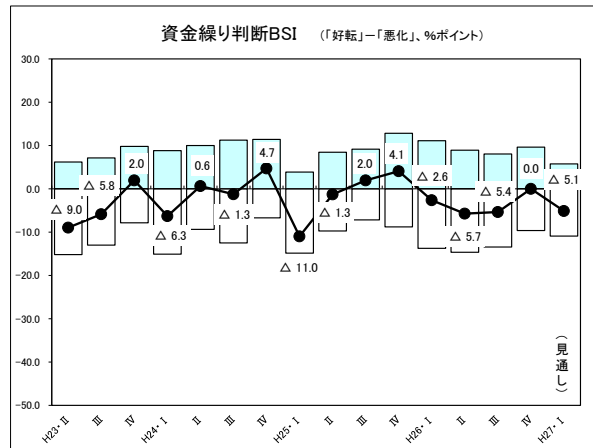
2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が△3.8、非製造業が 3.8、全産業では 0.0 となり、前期実績を 5.4 ポイント上回った。前年同期実績は 4.1 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が△6.4、非製造業が△3.8、全産業では△5.1 となり、今期実績を 5.1 ポイント下回り、指数自体は 2 期ぶりにマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	2.8	△ 7.8	△ 2.6	△ 3.7
食料品	17.6	25.9	△ 35.2	△ 4.3
繊維製品	11.1	△ 10.0	12.5	34.7
木材・木製品	0.0	△ 58.3	0.0	△ 8.3
化学工業・石油製品	43.3	0.0	△ 16.6	△ 53.3
金属製品	10.0	△ 20.0	10.0	△ 10.0
機械器具	△ 18.2	0.0	△ 18.2	△ 9.1
輸送用機械器具	0.0	△ 20.0	40.0	20.0
その他	△ 20.0	△ 20.0	20.0	0.0
非製造業	7.9	△ 0.3	△ 7.6	△ 1.2
建設業	6.0	14.3	△ 7.2	0.0
卸売業	6.3	△ 12.5	5.9	0.3
小売業	△ 0.6	5.3	△ 15.8	△ 15.5
運輸業	0.0	△ 10.0	10.0	0.0
サービス業 その他	22.3	△ 0.3	△ 22.3	12.7
合計	5.4	△ 4.1	△ 5.1	△ 2.5

7. 銀行借入判断 BSI

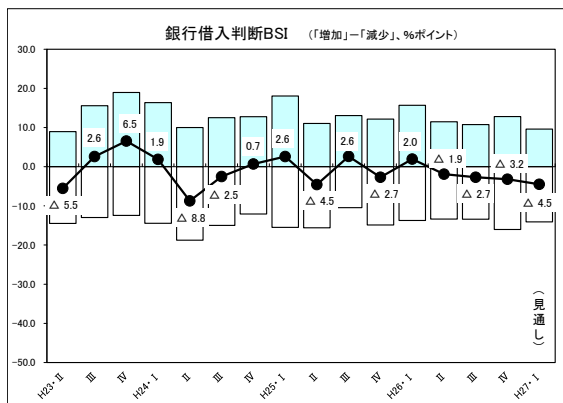
3 期連続で低下し、来期も低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が△2.6、非製造業が△3.8、全産業では△3.2 となり、前期実績を 0.5 ポイント下回った。前年同期実績は 0.5 ポイント下回る水準。指数自体は 3 連続のマイナス指数。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が 1.3、非製造業が△10.3、全産業では△4.5 となり、今期実績を 1.3 ポイント下回る見通し。指数自体も 4 期連続のマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	1.3	△ 3.9	3.9	△ 1.4
食料品	△ 5.9	△ 14.2	0.0	14.1
繊維製品	△ 11.1	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0
木材・木製品	△ 16.7	△ 50.0	83.3	8.3
化学工業・石油製品	16.7	16.7	0.0	△ 3.3
金属製品	△ 20.0	△ 10.0	30.0	△ 10.0
機械器具	9.1	0.0	△ 9.1	△ 9.1
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	20.0
その他	27.1	25.9	0.0	7.5
非製造業	△ 2.4	3.0	△ 6.5	△ 11.6
建設業	20.3	11.9	△ 50.0	△ 35.7
卸売業	△ 18.1	7.0	11.8	△ 16.7
小売業	△ 16.4	△ 0.5	△ 10.6	△ 21.1
運輸業	10.0	△ 10.0	0.0	23.3
サービス業 その他	0.0	0.7	11.1	5.9
合計	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.3	△ 6.5

8. 設備投資判断 BSI

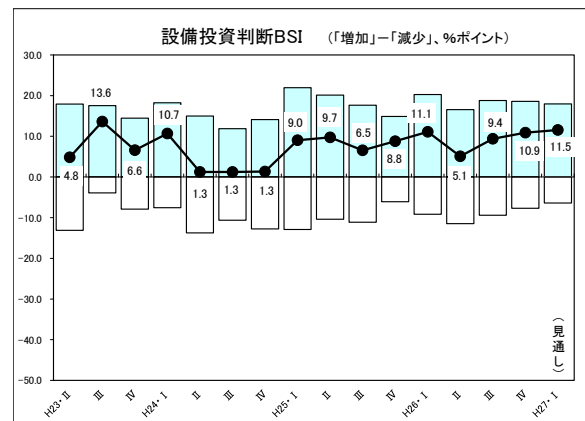
2 期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 10～12 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 14.1、非製造業が 7.7、全産業では 10.9 となり、前期実績を 1.5 ポイント上回った。前年同期実績は 2.1 ポイント上回る水準で、指数自体は 18 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 27 年 1～3 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 17.9、非製造業が 5.1、全産業では 11.5 となり、今期実績を 0.6 ポイント上回る見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	3.6	2.1	3.8	△ 3.4
食料品	△ 12.5	0.0	11.8	△ 1.5
繊維製品	23.6	12.5	△ 12.5	△ 22.2
木材・木製品	△ 33.3	△ 33.3	50.0	41.7
化学工業・石油製品	△ 36.7	△ 50.0	16.7	△ 20.0
金属製品	20.0	30.0	△ 10.0	△ 10.0
機械器具	0.0	0.0	0.0	9.1
輸送用機械器具	40.0	40.0	0.0	40.0
その他	20.4	7.4	△ 6.6	△ 18.3
非製造業	△ 0.5	2.2	△ 2.6	3.8
建設業	13.1	21.4	△ 7.1	0.0
卸売業	△ 18.8	△ 18.8	17.6	12.0
小売業	15.8	5.8	△ 26.3	△ 20.5
運輸業	10.0	25.0	0.0	11.1
サービス業 その他	△ 16.7	△ 5.9	5.6	23.2
合計	1.5	2.1	0.6	0.4

【設備投資目的】

1 位「維持更新」53.4%、2 位「能力増強」20.5%、
3 位「合理化・省力・省エネ・技術開発」14.8%、
4 位「新製品・新規事業」9.1%。

9. 雇用状況判断 BSI

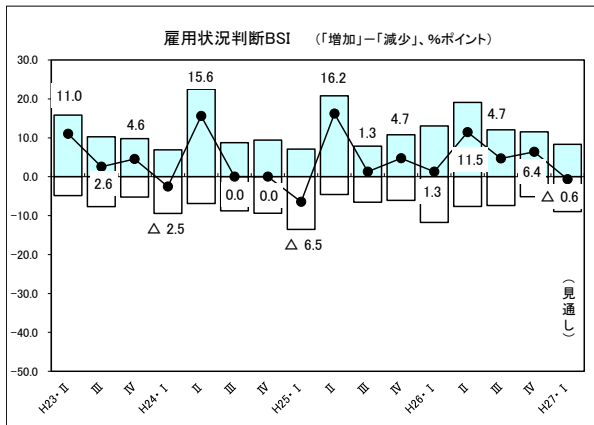
2期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成26年10～12月期)＞

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 6.4、非製造業が 6.4、全産業では 6.4 となり、前期実績を 1.7 ポイント上回った。前年同期実績は 1.7 ポイント上回る水準で指数自体は 7 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成27年1～3月期)＞

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が $\Delta 3.8$ 、非製造業が 2.6、全産業では $\Delta 0.6$ となり、今期実績を 7.0 ポイント下回る見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 6.8$	1.1	$\Delta 10.2$	$\Delta 9.1$
食料品	$\Delta 7.4$	9.3	$\Delta 23.5$	20.8
繊維製品	$\Delta 23.6$	$\Delta 12.5$	$\Delta 25.0$	$\Delta 59.7$
木材・木製品	$\Delta 33.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 16.7$	8.3
化学工業・石油製品	20.0	16.7	0.0	$\Delta 20.0$
金属製品	0.0	$\Delta 10.0$	0.0	$\Delta 10.0$
機械器具	$\Delta 9.1$	0.0	9.1	$\Delta 9.1$
輸送用機械器具	20.0	20.0	0.0	20.0
その他	$\Delta 7.6$	0.8	$\Delta 13.4$	$\Delta 19.2$
非製造業	10.5	2.3	$\Delta 3.8$	5.2
建設業	$\Delta 14.3$	$\Delta 39.3$	21.4	0.0
卸売業	$\Delta 0.7$	18.1	5.8	12.0
小売業	27.6	0.8	$\Delta 26.3$	$\Delta 0.5$
運輸業	0.0	$\Delta 10.0$	10.0	0.0
サービス業 その他	27.8	28.5	$\Delta 16.7$	11.8
合計	1.7	1.7	$\Delta 7.0$	$\Delta 1.9$

10. 採算判断 BSI

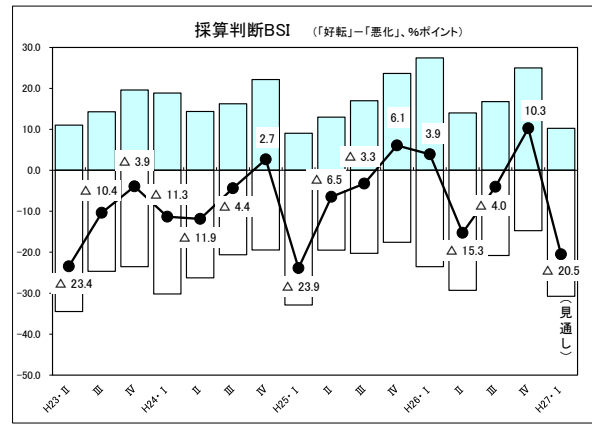
2期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成26年10～12月期)＞

今期の採算 BSI は製造業が 5.1、非製造業が 15.4、全産業では 10.3 となり、前期実績を 14.3 ポイント上回った。前年同期実績は 4.2 ポイント上回る水準で、指数自体は 3 期ぶりのプラス指数。

＜来期見通し(平成27年1～3月期)＞

来期の採算見通し BSI は、製造業が $\Delta 29.5$ 、非製造業が $\Delta 11.5$ 、全産業では $\Delta 20.5$ となり、今期実績を 30.8 ポイント下回る見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	11.7	$\Delta 0.2$	$\Delta 34.6$	$\Delta 18.8$
食料品	17.2	6.8	$\Delta 76.4$	$\Delta 12.9$
繊維製品	12.5	22.5	$\Delta 37.5$	8.3
木材・木製品	$\Delta 16.7$	$\Delta 75.0$	0.0	0.0
化学工業・石油製品	96.7	66.7	$\Delta 66.7$	10.0
金属製品	10.0	$\Delta 10.0$	$\Delta 20.0$	$\Delta 60.0$
機械器具	$\Delta 18.2$	9.1	$\Delta 9.1$	$\Delta 18.2$
輸送用機械器具	$\Delta 20.0$	$\Delta 20.0$	0.0	$\Delta 40.0$
その他	21.4	$\Delta 17.6$	$\Delta 26.7$	$\Delta 14.2$
非製造業	16.8	8.6	$\Delta 26.9$	$\Delta 29.4$
建設業	6.0	39.3	0.0	$\Delta 14.3$
卸売業	36.4	$\Delta 13.7$	$\Delta 29.4$	$\Delta 45.1$
小売業	10.5	$\Delta 14.5$	$\Delta 36.8$	$\Delta 66.3$
運輸業	0.0	25.0	20.0	31.1
サービス業 その他	22.2	27.8	$\Delta 61.1$	$\Delta 15.7$
合計	14.3	4.2	$\Delta 30.8$	$\Delta 24.4$

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

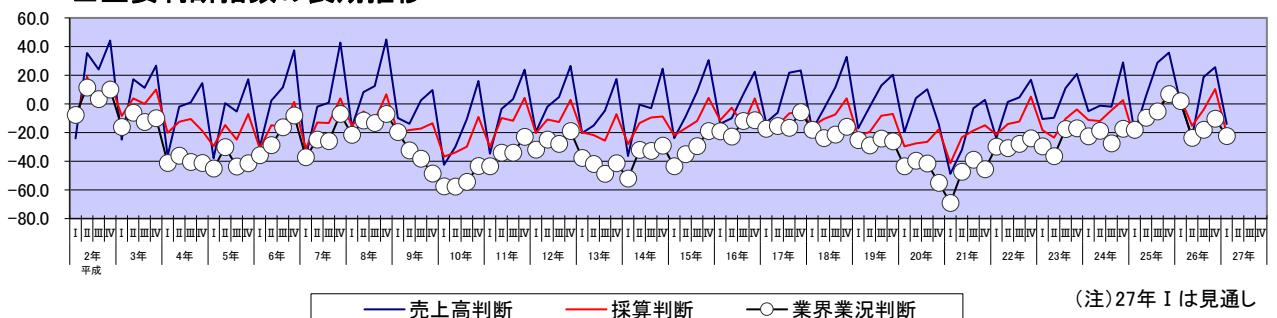
■今期(平成26年10~12月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	28.2	20.5	32.1	2.6	△ 3.8	△ 2.6	14.1	6.4	5.1	△ 12.8
1. 食料品	47.1	52.9	58.8	17.6	17.6	△ 5.9	0.0	17.6	23.5	0.0
2. 繊維製品	△ 12.5	△ 37.5	37.5	△ 25.0	0.0	0.0	12.5	△ 12.5	12.5	△ 37.5
3. 木材・木製品	0.0	△ 16.7	0.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 50.0	△ 33.3	0.0	△ 50.0	△ 66.7
4. 化学工業・石油製品	50.0	50.0	50.0	0.0	△ 16.7	16.7	△ 16.7	0.0	16.7	△ 16.7
5. 金属製品	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	△ 20.0	50.0	10.0	10.0	20.0
6. 機械器具	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	18.2	9.1
7. 輸送用機械器具	40.0	40.0	40.0	20.0	△ 20.0	0.0	60.0	20.0	△ 40.0	0.0
8. その他	33.3	20.0	20.0	6.7	△ 20.0	20.0	13.3	6.7	0.0	△ 33.3
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	100.0	50.0	50.0	0.0	△ 50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0
非製造業	-	-	19.2	0.0	3.8	△ 3.8	7.7	6.4	15.4	△ 7.7
9. 建設業	-	-	△ 7.1	△ 14.3	14.3	28.6	21.4	△ 14.3	14.3	△ 7.1
[卸・小売業計]	-	-	36.1	8.3	2.8	△ 11.1	8.3	13.9	13.9	△ 13.9
10. 卸売業	-	-	52.9	11.8	0.0	△ 11.8	0.0	11.8	17.6	△ 5.9
11. 小売業	-	-	21.1	5.3	5.3	△ 10.5	15.8	15.8	10.5	△ 21.1
12. 運輸業	-	-	△ 10.0	0.0	△ 10.0	△ 10.0	0.0	△ 10.0	0.0	△ 30.0
13. サービス業 その他	-	-	22.2	△ 5.6	5.6	△ 11.1	0.0	16.7	27.8	16.7
合計	28.2	20.5	25.6	1.3	0.0	△ 3.2	10.9	6.4	10.3	△ 10.3

■来期(平成27年1~3月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	△ 19.2	△ 11.5	△ 17.9	3.8	△ 6.4	1.3	17.9	△ 3.8	△ 29.5	△ 29.5
1. 食料品	△ 58.8	△ 52.9	△ 64.7	29.4	△ 17.6	△ 5.9	11.8	△ 5.9	△ 52.9	△ 35.3
2. 繊維製品	△ 37.5	△ 37.5	△ 50.0	△ 25.0	12.5	△ 50.0	0.0	△ 37.5	△ 25.0	△ 37.5
3. 木材・木製品	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3	33.3	16.7	△ 16.7	△ 50.0	△ 66.7
4. 化学工業・石油製品	△ 66.7	△ 66.7	△ 66.7	△ 33.3	△ 33.3	16.7	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
5. 金属製品	30.0	30.0	20.0	40.0	10.0	10.0	40.0	10.0	△ 10.0	10.0
6. 機械器具	18.2	36.4	27.3	0.0	△ 9.1	△ 9.1	27.3	9.1	9.1	0.0
7. 輸送用機械器具	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	△ 40.0	0.0
8. その他	△ 20.0	0.0	0.0	△ 13.3	0.0	20.0	6.7	△ 6.7	△ 26.7	△ 53.3
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	50.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 100.0
非製造業	-	-	△ 10.3	△ 20.5	△ 3.8	△ 10.3	5.1	2.6	△ 11.5	△ 15.4
9. 建設業	-	-	28.6	△ 7.1	7.1	△ 21.4	14.3	7.1	14.3	14.3
[卸・小売業計]	-	-	△ 16.7	△ 33.3	△ 2.8	△ 11.1	2.8	2.8	△ 19.4	△ 13.9
10. 卸売業	-	-	△ 5.9	△ 23.5	5.9	0.0	17.6	17.6	△ 11.8	△ 5.9
11. 小売業	-	-	△ 26.3	△ 42.1	△ 10.5	△ 21.1	△ 10.5	△ 10.5	△ 26.3	△ 21.1
12. 運輸業	-	-	10.0	0.0	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	20.0	△ 30.0
13. サービス業 その他	-	-	△ 38.9	△ 16.7	△ 16.7	0.0	5.6	0.0	△ 33.3	△ 33.3
合計	△ 19.2	△ 11.5	△ 14.1	△ 8.3	△ 5.1	△ 4.5	11.5	△ 0.6	△ 20.5	△ 22.4

■主要判断指数の長期推移



II. 経営上の問題点

1位は「原材料（仕入）高」（20.5%）、
2位は「過当競争」（15.6%）、3位は「求人難」と「販売（受注）不振」（15.0%）、
5位は「製品（販売）安」（12.2%）、6位
は「設備老朽化」（11.6%）であった。

円安などを背景とする原材料高の影響
で「原材料（仕入）高」を経営上の問題
点としてあげる企業の割合は高く、8期
連続の1位となった。

「経営上の問題点」の推移

平成26年/1～3月期			平成26年/4～6月期			平成26年/7～9月期			平成26年/10～12月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	原材料（仕入）高	21.7%	1	原材料（仕入）高	22.8%	1	原材料（仕入）高	20.5%	1	原材料（仕入）高	20.5%
2	過当競争	15.7%	2	販売（受注）不振	15.4%	2	求人難	17.9%	2	過当競争	15.6%
3	販売（受注）不振	14.5%	3	過当競争	15.1%	3	過当競争	14.7%	3	求人難	15.0%
4	設備老朽化	11.9%	4	求人難	11.3%	4	販売（受注）不振	14.4%	3	販売（受注）不振	15.0%
4	求人難	11.9%	5	製品（販売）安	10.9%	5	製品（販売）安	11.5%	5	製品（販売）安	12.2%
6	製品（販売）安	10.7%	5	設備老朽化	10.9%	5	設備老朽化	11.5%	6	設備老朽化	11.6%
7	賃金上昇	5.3%	7	賃金上昇	6.8%	7	その他	2.6%	7	賃金上昇	4.9%
8	その他	3.1%	8	その他	1.6%	8	賃金上昇	2.2%	8	その他	1.5%
9	金利負担増	1.9%	9	借入れ難	1.3%	8	設備不足	2.2%	9	設備不足	1.2%
10	設備不足	1.3%	9	環境対応	1.3%	10	回収条件の悪化	0.6%	9	環境対応	1.2%
11	環境対応	0.9%	11	設備不足	1.0%	10	環境対応	0.6%	11	金利負担増	0.9%
12	回収条件の悪化	0.3%	12	回収条件の悪化	0.6%	12	金利負担増	0.3%	12	借入れ難	0.3%
12	借入れ難	0.3%	12	設備過剰	0.6%	12	借入れ難	0.3%	13	回収条件の悪化	0.0%
12	設備過剰	0.3%	14	金利負担増	0.3%	12	設備過剰	0.3%	13	設備過剰	0.0%

企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成26年12月5日～12月29日
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査
前期（平成26年7～9月）と比較した今期（平成26年10～12月）の実績及び今期（平成26年10～12月）と比較した来期（平成27年1～3月）の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業257社
- ⑤ 有効回答率：60.7%（有効回答数156社）

業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	78	50.0%
食料品	17	10.9%
繊維製品	8	5.1%
木材・木製品	6	3.8%
化学工業・石油製品	6	3.8%
金属製品	10	6.4%
機械器具	11	7.1%
輸送用機械器具	5	3.2%
その他	15	9.6%
非製造業	78	50.0%
建設業	14	9.0%
卸売業	17	10.9%
小売業	19	12.2%
運輸業	10	6.4%
サービス業 その他	18	11.5%
合計	156	100.0%

(H27.1.19 主任研究員 高木俊裕)